

目次

A. 目的と適応	P.3
B. 大会	P.3
1. タイトル	
2. ランキング	
3. 所有権	
4. オープン大会・差別なし	
5. 守るべきルール	
6. 修正事項	
C. マネージメント	P.4
D. 公認大会のルールと競技規則	P.4
1. メディカル管理—アンチ・ドーピングの指針	
2. <u>広報活動とプロモーション</u>	
3. メディア、広告、大会データの権利	
4. 公認料	
5. 大会の責務	
6. ノーコンプライアンス	
7. <u>イベント保険</u>	
8. JTA の責務	
9. ランキングとポイントの配分	
10. <u>プロテクトランキング</u>	
11. <u>システムオブメリット (実力評価)</u>	
12. JTA ビーチテニスツアーの構成	
13. トーナメント日程の制限	
14. 賞金の配分	
E. エントリーとウイズドロー	P.7
1. エントリーの定義	
2. <u>エントリー</u>	
3. エントリーとウイズドローの締め切り	
4. <u>ドロ-の空き</u>	
5. ダブルエントリー	
6. 受付	
7. アクセプトンスリストの誤り	
8. 提訴の権利放棄	

F. 大会競技規則	P.9
1. 競技規則を適用できないとき	
2. 試合形式	
3. トーナメント方式のドローの構成	
4. <u>ラウンドロビン</u>	
5. <u>ラッキールーザーサインイン・オルタネイトサインイン</u>	
6. ウイズドローとシードの置き換え	
7. 中断と延期	
8. ホスピタリティ（選手への宿泊援助など）	
9. コート	
10. <u>ディレクター</u>	
11. レフェリー	
12. 大会ドクター・フィジオ・トレーナー	
13. 試合方法	
14. ビーチテニスルール	
15. プレーのコンディション	
16. エントリーフィー	
17. 賞金	
18. 施設	
19. ボール	
20. 関連する競技規則	
<u>付則 A ITF 公認国際大会賞金配分表</u>	P.15
<u>付則 B 大会グレードとランキングポイント</u>	P.15
<u>付則 C 海外取得ポイント</u>	P.16
<u>付則 D メディカル、厳しい気象条件、トイレ・着替え</u>	P.16
<u>付則 E 選手の体と心をケアする指針 Welfare Policy</u>	P.19
<u>付則 F テニス反腐敗プログラム</u>	P.19
<u>付則 G 連絡先</u>	P.20

## 2016 JTA 公認ビーチテニス大会ルールと競技規則

JTA はビーチテニスを含むテニスの国内管理団体である。JTA は男子、女子、子供のあらゆるレベルの人々がリクリエーションとして楽しむ、あるいはビーチテニス競技へ出場する機会を与え、その促進、発展を目指す。テニスの管理団体として、JTA はビーチテニスの主導的な役割を担う。JTA は適応するルールに基づいて公正で平等に機会を与え、国内団体として期待される基準に従ってビーチテニスルールが守られていることを確認するよう努力する。

### A. 目的と適応

公益財団法人日本テニス協会は JTA 公認ビーチテニス大会において、秩序を守り統一した手順で行われるように公正で理にかなったルールを定め、これらの競技規則を公表する。文中における JTA とはすべて公益財団法人日本テニス協会を指す。公認大会として JTA のビーチテニス年間カレンダーに組み込まれた大会は、JTA ビーチテニス大会ルールと競技規則、ビーチテニス運営ガイドライン、および推奨されるヘルスケア基準を順守するものとし、これらのルールは適宜改訂される。

### B. 大会

#### 1. タイトル

男女ダブルスの大会を JTA ビーチテニスツアーと呼ぶ。

#### 2. ランキング

JTA が発行するランキングを JTA ビーチテニスランキングと呼ぶ。

#### 3. 所有権

JTA 公認大会は統括団体である JTA がツアーの所有権を持ち運営する。所有権は以下のものに限らないが、大会の広告宣伝、ネットへ流すライブスコア、テレビ、ラジオ、録画したビデオに加えて新たなメディアとインターネット報道に関して国内国外での権利も含む。JTA のマークについては JTA が所有権を持つ。ランキングは JTA が所有権を持ち、以下のものに限らないが、JTA のマーク、ランキングの宣伝利用、国際的なランキングの宣伝及びインターネット報道に関して JTA が管理する。

#### 4. オープン大会・差別なし

大会は男子選手と女子選手の参加を認める。一男子種目は男子選手に、女子種目は女子選手に（付則 A を参照）一本戦初日に 14 才未満の選手を除いて差別なしに受け入れられる。

#### 5. 守るべきルール

- a) 大会は JTA の管理する JTA ビーチテニスコードオブコンダクト及び JTA に認められた ITF/JTA ビーチテニスルールと競技規則に従って開催される。
- b) 申請書を JTA へ提出した大会主催者はこれらのルール、競技規則、大会運営ガイドライン、JTA ビーチテニスコードオブコンダクト JTA ルールオブビーチテニスを遵守し、また申請書の内容事項に責任を負うことに同意したものとする。
- c) JTA によって公認された大会へエントリーを提出した選手は、これらのルール、競技規則及び JTA ビーチテニスコードオブコンダクトに同意したものとする。JTA 公認ビーチテニスにエントリーまたは出場する選手とそのサポートチームのメンバーは付則 E の ITF Welfare Policy に従う義務がある。
- d) JTA 公認ビーチテニスにエントリーまたは出場する選手とそのサポートチームのメンバーは付則 F の ITF 統一アンチ賭博プログラムに従う義務がある。

e) JTA 公認ビーチテニスにエントリーまたは出場する選手とそのサポートチームのメンバーは付則 F の ITF アンチ・ドーピングプログラムに従う義務がある。ITF アンチ・ドーピングプログラムは ITF ウェブサイトで見ることができる。ルールブックの別冊として発行し JTA へ配布されている。申請すれば入手も可能で、付則 F にも記載されている。

## 6. 修正事項

JTA ルールオブビーチテニスと競技規則は ITF ルールオブビーチテニスと競技規則に沿って JTA がその全てまたは一部を修正し、廃止するかあるいは変更する。

## C. マネージメント

JTA 公認ビーチテニス大会は JTA 常務理事会の指示の下、JTA 分野別本部及び委員会に関する規定に基づき設置されるビーチテニス委員会によって管理される。

### 1. 常務理事会の職務

- 大会に必要なルール、競技規則、JTA ビーチテニスオブコンダクトの採択。
- 様々な抗議や異議に対する対応。
- 大会に係る商標の登録と保護。

## D. 公認大会のルールと競技規則

### 1. メディカルコントロールーアンチ・ドーピング政策

JTA 公認ビーチテニスにエントリーまたは出場する選手とそのサポートチームのメンバーは 2016 年 ITF アンチ・ドーピングプログラム規定並びに JTA アンチ・ドーピング規定に従う義務がある。

### 2. 広報活動とプロモーション Publicity and Promotion

プレーヤーは自身の名前、音声、映像、プロフィールなどをビーチテニスの普及や発展活動の一端として使用する権利を日本テニス協会、当該大会および大会関係者に対して承諾し無償で譲渡するものとする。しかし、プレーヤーによる特定商品のエンドースメントを代行することはない。

### 3. メディア、広告とデータの権利

JTA ビーチテニスツアーは JTA が公認し主管し、ツアーを構成する各大会のメディアに対する権利を保持する。対メディア権利にはライブストリーミングも含まれ、30 秒を越えるタイムラグを生じるライブストリーミングは承認しない。

### 4. 公認料

JTA に公認された ITF ビーチテニスツアー大会は公認料 16,200 円(税込)を、国内ビーチテニスツアー大会は 10,800 円(税込)を支払わなければならない。公認料は、キャンセルや、賞金額を変えても返金されない。(JTA の裁量で返金を決定した場合を除く)。また、以下の公認料を別途 ITF へ支払わなければならない。

賞金カテゴリー	公認料 (US ドル)
<u>\$ 35,000+H / \$ 50,000</u>	<u>\$ 1,500</u>
<u>\$ 15,000+H / \$ 25,000</u>	<u>\$ 750</u>
<u>\$ 10,000</u>	<u>\$ 500</u>
<u>\$ 6,500</u>	<u>\$ 350</u>
<u>\$ 2,500</u>	<u>\$ 350</u>
<u>賞金なし</u>	<u>\$ 150</u>

## 5. 大会の責務

すべての JTA 公認ビーチテニス大会は書面で JTA と合意していない限り、JTA 大会運営ガイドラインに従って計画し準備されなければならない。

### a) 大会の申し込みと承認

I. JTA 公認ビーチテニス大会への申込は JTA ビーチテニス大会公式申請書に必要事項を記入し競技規則に従って JTA へ提出する。申請書は大会開催前年の 11 月末までに JTA に提出する。申請締切日まで JTA が受領していない場合は受け入れられない。

II. JTA 公認ビーチテニス大会として認められた大会が開始予定日の 4 週間（28 日前）を過ぎて大会を取りやめた場合は JTA が止むを得ない事情があると判断した場合を除き、次年度は公認されない。JTA の判断によって公認される場合はグレードを下げられる。

### b) 大会要項

JTA ビーチテニス公式大会要項は、選手に確実に情報を伝えるために、遅くとも大会初日の 8 週(56 日)前にメールで JTA に提出しなければならない。

c) JTA の要請があれば、大会は無料で大会プログラムのなかに 1 ページを使って JTA による解説又は広告を掲載しなければならない。また、バナーを掲示する大会は、バナーに JTA ロゴを入れることが望ましい。

d) レフェリーは大会終了後、3 日以内にダブルス本選と予選の結果を JTA ホームページで送付する。ドローには選手のフルネーム、試合結果が記載されていなければならない。

## 6. ノーコンプライアンス

JTA ビーチテニス競技規則、または JTA ビーチテニスツアー運営ガイドラインを遵守しない大会は、JTA の判断により次年度のグレードを下げるかあるいは公認しない場合がある。

## 7. イベント保険 Public Liability Insurance

大会申請をする主催者は大会運営にあたって盗難や人身事故が起きた場合に対応すべく、適切な保険(例：イベント保険)に入る必要がある。契約書には JTA の名前も盛り込み、JTA から要請があれば提出する。

## 8. JTA の責務

JTA は大会を公認し、J T A ビーチテニスランキングを管理する。またこれらをできるだけ広範に公表する責任を持つ。JTA は JTA ウェブサイトに公認大会の大会要項と結果を掲載する。

## 9. ランキングとポイントの配分

JTA は毎月 10 日までに届いた JTA 公認国内大会結果及び、毎月 10 日時点での ITF が発表する ITF ランキングポイントを集計し、毎月 15 日(ただし 15 日が土日祝日の場合はそれ以降)に JTA 公式 HP で発表する。JTA ランキングは ITF が発表する ITF ランキングと JTA 公認国内大会の合計ポイント集計に基づき決定される。ポイントを取得するには、選手はポイントが取得できるラウンドまで到達しなければならない。ポイント取得できるラウンドは大会のグレードによって異なる。

(付則 B 参照)

- ITF 国際ビーチテニスランキングは、直近の 5 2 週間に出場した大会で最も成績の良かった 8 試合のダブルスの合計ポイントで決まる。ただし、世界、あるいは地域国別選手権の成績は翌年の大会まで残することができる。
- 1 度も試合をせずにウイズドロー、ノーショウになったチームにはポイントが与えられない。

- 1 回戦、または 1, 2 回戦が BYE で次のラウンドに進んでも、試合をして勝ち進んだことにはならない。1 回戦、または 1, 2 回戦が不戦勝(WO)で次のラウンドに進んだ場合は、試合をして勝ち進んだことになる。いったん試合が始まってから相手チームがリタイアや失格になった場合、そのラウンドを勝ち進んだことになる。
- ITF ビーチテニスツアー大会では、1 回戦、または 1, 2 回戦が B Y E や不戦勝(WO)で次のラウンドに進み、初戦で敗退したチームには、そのラウンドの賞金と、ひとつ前のラウンドのポイントが与えられる。
- JTA ビーチテニスツアーのルールと競技規則に準じて「出場の権利がない」、と判断された選手にはランキングポイントを与えない。

## 10. プロテクトランキング

ケガで一時的に JTA ビーチテニスツアーから離れていた選手は、活動停止前のランキングから算出されプロテクトランキングを使って大会にエントリーすることができる。

- 申請方法： ケガにより 6 カ月以上 JTA ビーチテニス大会に出場していない選手は JTA にプロテクトランキングの使用許可願を提出することができる。申請は書面で行い、最後にプレーした大会から 6 カ月以内に受理されなければならない。
- 計算方法と適用： 最後にプレーした大会の翌週以降 6 回更新されたランキングの平均値を採用する。プロテクトランキングで本戦、または予選にエントリーできるが、シードを決めるランキングとしては採用されない。
- 適用制限： ケガから復帰後、5 大会でプロテクトランキングを使ってエントリーできるが、この 5 回は 1 年以内に使わないといけない。また、エントリーのときにプロテクトランキングを使う、ということを大会に提示しなければならない。復帰後に参加する大会では、プロテクトランキングを使うか、或いは通常のランキングを使うか、を選択することができる。最後の大会から 2 年以外はプロテクトランキングを使える。
- 妊娠： 妊娠もプロテクトランキングの対象となり、条件もケガによるものと同じ。産後 1 年以内に復帰後最初の大会にエントリーしないとイケない。

## 11. システムオブメリット(実力評価)

エントリーしたチームは締め切り時点の最新ビーチテニスランキングによって受け入れられる。JTA 国内大会は JTA ビーチテニスランキング、ITF 国際大会では ITF ビーチテニスランキングを用いる。その受け入れ基準の優先順位は次のとおり。

- 両選手がランキング保持者で合計ランキングが高い順
  - 1 人がランキング保持者でパートナーは持っていない
  - 両選手がランキングを持っていない
- 同等の順位のチームは無作為の抽選によって順位を決定する。

## 12. JTA ビーチテニスツアー大会の構成

JTA ビーチテニスツアー大会ルールと規則を順守する大会は JTA ビーチテニスランキングの対象となり、試合結果はドロサイズ、進んだラウンドに応じて JTA ビーチテニスランキングに反映される。ツアーを構成する大会は以下のカテゴリーに分けられる。

(改訂案の図表 - 表 1)

JTA 公認 ITF 国際大会は、表 2 ITF 賞金別カテゴリー及びポイント表」参照。

(カテゴリー別ランキングポイントの図表 - 表 2)

## 13. トーナメント日程の制限

- JTA 主催大会と公認大会を同時期に開催することは認められない。
- 同時期に国際大会を重複して開催することは認められない。

c) 同時期に国内大会を重複して開催することは認められない。

d) JTA が特に許可した場合を除く。

JTA 公認 ITF ビーチテニスツアー大会では、大会週を月曜から日曜とし、本戦ダブルスの初日がある週を大会週とする。予選をする場合、本戦の前日までに終了しなければならない。

#### 14. 賞金の配分

賞金は男子、女子の各本戦に出場したチームへ以下の配分比率で支払われる。比率は賞金額のパーセンテージを示す。男女各チームは本戦で勝ち進んだラウンドの賞金を受け取る。ITF 公認国際大会では、1 回戦、または 1, 2 回戦が BYE、或いは不戦勝(WO)で、初戦で敗退したチームには、そのラウンドの賞金と、ひとつ前のラウンドのポイントが与えられる。

a) 配分比率

	J1 (賞金付き大会)
優勝者	20%
準優勝者	12%
ベスト 4	5%
ベスト 8	2%
R16	なし

ITF 国際大会の賞金配分表は付則 A 参照。

b) 配分されなかった賞金

大会において選手に配分されなかった賞金は大会主催者に帰属する。当該賞金はディレクターの自由裁量によっていずれかの種目あるいは両種目に再配分されても構わない。

c) ノーショウとレイトウィズドロ

一度も試合をせずにレイトウィズドロや、ノーショウになったチームには賞金は支払われない。

d) 完了しなかった試合

悪天候、等、の理由で大会が開始されなかった場合は、賞金配分比率に応じて全チームに 1 回戦の賞金が支払われる。大会は開始されたが途中で中止になった場合は、進んだラウンドの敗者の賞金が両チームに支払われる。また、大会が正式に中止を決めたために決勝が完了しなかった場合は、それぞれに準優勝の賞金が支払われる。優勝賞金と準優勝賞金の差額は大会に戻される。

#### E. エントリーとウィズドロ

##### 1. エントリーの定義

a) ダイレクトアクセプタンス (DA)

大会規則に従って本戦に直接受け入れられたダブルスチーム

b) アクセプタンスリスト

大会の本戦、予選に受け入れられたチームのリスト。アクセプタンスリストは締め切り後直ちに大会主催者によって発表され、大会前まで随時更新される。アクセプタンスリストにはオルタネイトを含めた全チームを発表しなければならない。

c) クオリファイアー (Q)

予選で勝ち上がり本戦に入ったダブルスチーム。本戦に受け入れられるクオリファイアーのチーム数はセクション F.3 (トーナメント方式のドロの構成) に従う。

d) 予選

本戦に先立ち直前に開催され本戦に受け入れられるクオリファイアーを決定するために行われる。

#### e) ワイルドカード (WC)

大会主催者の自由裁量によって予選及び本戦に受け入れられたダブルスチーム。ワイルドカードはシードとなることができる。ワイルドカードはドロー作成時に決定され、ドロー作成後はウイズドローや失格によって新たなワイルドカードに置き換えることはできない。その場合は、アクセプタンスリストの次の権利あるチームが入られる。あるいは既に予選が開始されている場合は、ラッキーローザーが入ることとなる。予選開始は最初の試合の最初のボールが打たれた時とする。予選にサインし予選ドローに入ったダブルスチームは予選開始後に本戦ワイルドカードとなることはできない。

#### f) ラッキーローザー (LL)

予選の最終ラウンドで負けたダブルスチームは本戦にウイズドローが出た場合、その代わりとして本戦のドローに入る。もっと多くのラッキーローザーが必要な場合はその前のラウンドの敗者に権利がある。

#### g) オルタネイト (ALT)

エントリーを期日までにしたが、本戦に入れなかった補欠チームを指し、予選がある大会は予選に入れなかったチームのことをいう。

#### h) オンサイトオルタネイト

大会にエントリーはしていないが、予選あるいは本戦の空きを埋める可能性にかけて会場に現れるダブルスチーム。オンサイトオルタネイトの権利を得るためには、少なくともチームのひとりが会場のレフェリーデスクでサインしなければならない。  
(サインの締め切りは予選サイン締め切り時刻まで、または、予選がない場合は本戦サインの締め切りまでに行わなければならない。)

## 2. エントリー

大会にエントリーするダブルスチームは、申し込み時点のランキングによってその大会の予選、本戦のいずれかにエントリーすることになる。

エントリーとウイズドローは指定の様式を用いて、書面で指定された期日までに該当する住所、ファクス番号、メール先に送らなければならない。

## 3. エントリーとウイズドローの締め切り

エントリーの締め切りは大会本戦初日の14日前とする。

ウイズドローの締め切りは大会本戦初日の10日前とする。

エントリーとウイズドロー締め切りの時間は大会要項に記載された日の14時とする。エントリー締め切り後に受け取ったエントリーは大会責任書の自由裁量で受け入れられるが、受け入れ順の優先順位はエントリー締め切り前にエントリーしたチームにある。ITF ビーチテニスツアー大会は大会開催週の月曜を起算日とし、18日前の木曜14:00 (GMT)がエントリー締め切り、13日前の火曜14:00 (GMT)がウイズドロー締め切りである。ウイズドロー締め切り後に発表された本戦、または予選のアクセプタンスリストに名前が載った選手は大会に参加が受理されたとみなされ、エントリー料を支払う責任がある。ただし、大会ディレクターの判断で免除されることもある。

## 4. ドローの空き

ダブルスのエントリーはチームで1単位とする。故に、チームのひとりがプレイできなくなった場合は、そのチームは失格となり、代理のチームが取って代わる。しかし、プレイヤーがケガやその他の避けがたい状況でエントリー締め切り後にウイズドローしても、それがドロー作成前であれば、そのパートナーは以下の条件を満たしたプレイヤーとなら組みかえて再エントリーすることができる。その条件とは、

a) 同一週に開催されるダブルスにエントリーをしていないプレイヤー。



- b) 当該大会にエントリーしているが、パートナーがケガやその他の避けがたい状況によりプレーできなくなったため、条件さえ整えば再エントリーできるプレーヤー  
再エントリーした新しいチームは、システムオブメリットに基づいてアクセプタンスリストに入る。ただし、その順位は、ウイズドロートしたチームより高くなつてはいけぬ。もし高くなるようであれば、ウイズドロートしたプレーヤーと組んだ場合のポジションに留まる。パートナーを失ったプレーヤー同士が組みかえた場合は、低いポジションにいたプレーヤーのチームの場所に入る。  
新しいチームの再エントリーはウイズドロートと同時に行わなければならない。  
この例外措置を受けられるとき以外は、ダブルエントリー締め切り後はパートナーを変更することはできない。ドロート作成後はいかなる場合も組み換えは認められない。ただし、シードの欠場によりドロートがやり直しになった場合はその限りでない。

## 5. ダブルエントリー（1期間1大会）

- a) コードオブコンダクトのエントリー違反に記載されている条項(2条、3項)を満たさない限り、一つの大会にコミットした選手は、その大会期間中に開催されるほかの大会に出場できない。選手は、同時期に開催される複数の大会に申し込むことができるが、一番早いウイズドロート締め切り期日までに出場する1大会を除きほかの大会をウイズドロートしなければならない。2つ以上の大会に受け入れられた(アクセプタンスリストに名前が載った)事実が判明した選手はどの大会にも出場できない。2つ以上の大会に出場したことが発覚した場合は、直ちに失格となり、該当するすべての賞金とランキングポイントは剥奪される。選手は自己責任において出場する大会を管理しなければならない。

## 6. 受付

- a) すべての本戦及び予選ダブルスチームは開催要項で定められた日時までにレフェリーヘサインを申し出なければならない。ダブルスチームの1人がサインをすれば良い。電話によるサインもできる。

## 7. アクセプタンスリストの誤り

エントリー締め切り後でサインイン前にリストに誤りが起こった場合は、すべての受け入れられた選手はサインをすることが許される。そして以下の手順に従って事前試合が行われる。もしも、規定より1チーム多くアクセプタンスリストに入ってしまう、全員が会場に来てサインをした場合は、アクセプタンスリストの最後の2チームが1スポットのために事前試合をする。誤って2チーム以上が超過して受け入れられた場合は、正しいチーム数に絞るため必要数の事前試合をする。事前試合をするチームの中で、最もランキングの高いチームが低いチームと試合をする。試合の順番は抽選で決められる。事前試合で負けたチームは第1ラウンドの賞金とJTA公認ビーチテニスランキングポイントを受け取る。事前試合の勝者は(D7ランキングとポイントの配分に従って)勝ち上がったラウンドのランキングポイントと賞金を受け取る。このチームが第1ラウンドで負けた場合は、第1ラウンドの賞金およびポイントに加え第2ラウンドの25%のランキングポイントと賞金を大会主催者から与えられる。

## 8. 提訴の権利放棄

- a) JTA公認大会へエントリーを提出した選手は、エントリーによって起こるいかなる問題についても自己責任を負い、大会を承認したJTAに対し提訴することはできない。

## F. 大会規則

この項目についてはJTA公認ビーチテニス大会運営ガイドラインと関連付けて読む。

### 1. 規則を一部変更する場合

大会期間中に雨天などの理由で大会委員会が以下の競技規則の一部内容を変更せざるを得ないと判断した場合は、理由を記載した文書(メール可)を、JTA 或いは JTA ビーチテニス委員長へ届くようにしなければならない。

## 2. 試合形式

本戦はすべてトーナメント方式で行う。ただし、参加数が9チームに満たない場合は、ラウンドロビンで試合を行う。詳しくは後述を参照。予選については、参加が9チームに満たない場合は、トーナメントディレクターの裁量でトーナメント方式かラウンドロビンを採用するかを決める。予選の参加チームが9以上の場合はトーナメント方式で試合を行わなければならない。すべてのドローは、開催地以外の選手1人を含め2人以上の選手が立会い、大会レフェリーによって公開で行われる。サインインが終わり次第、ドローとオーダーオブプレーを作成する。

## 3. トーナメント方式のドロー

すべての大会の本戦ドローは男女とも16以上が望ましいが、JTA国内大会に限り、エントリー数によっては本戦8ドローを認める。

### a) ドローの構成

#### I. 予選

ドローサイズ	8	16	24	32
ワイルドカード	1	2	4	6
ダイレクトアクセプタンス	7	14	20	26

#### II. 本戦

ドローサイズ	8	16	24	32
ワイルドカード	2	2	2	4
クオリファイア	0	2	2	4
ダイレクトアクセプタンス	6	12	20	24

III. 申し込みチームが16または16に満たない場合は予選はなしとする。

IV. JTA国内大会に限り、エントリー数によっては本戦8ドローを認める。その場合は、ワイルドカード(WC)は2本採用することができる。

### b) シード

シードの数は以下の通り：

#### I. 予選

各セクションに最大2本のシードが入る。

#### II. 本戦

32ドロー 8シード

24ドロー 8シード

16ドロー 4シード

8ドロー 2シード

#### III. シードの決め方

シードはドローをする時点でのJTAビーチテニスランキングの合算で決める。合算ランキングが同率の場合は、無作為に抽選して決める。一人しかランキングがないチームはシードになれない。

### c) ドローの作成

#### I. 予選 (トーナメント方式)

##### i. セクションとシード

予選ドローはセクションに分けて作成し、各セクションの勝者が本戦に入る。2人のクオリファイアが必要な場合は2つのセクションになる。4人のクオリファイアが必要であれば4つのセクションに、以下同様となる。ドローはシードを置き、シードの選択は4Bシードの選択に従って行われる。

ii. シードの場所

第1シードは1番目のセクションの最上段に置き、第2シードは上から2番目のセクションの最上段に置く。このようにして各セクションの最上段に1つシードを置く。残りのシードはまとめてくじ引きをする。最初に引いたチームは1番目のセクションの最下段に置き、2番目に引いたチームは第2セクションの最下段に置く。このようにして各セクションの最下段に1つシードを置く。

iii. バイ

ドロウを埋めるのに十分な選手がいない大会では、ドロウにシードを置いた後、必要となる数のBYEをシードの高い順に与えられる。シード数以上にBYEがある場合はくじ引きでドロウの各セクションに平均になるよう与えられる。

iv. ドロウの空きとオルタナイト

予選ドロウの空きはオルタナイトサインインをしたダブルスチームによって埋められる。その選手たちはシステムオブメリットを使って選ばれる。

II. 本戦

i. クオリファイアーを本戦ドロウへ挿入

予選が始まったあとはクオリファイアーまたはラッキールーザーのみが本戦に受け入れられる。予選開始は予選第1試合の最初のボールが打たれた時とする。

ii. シードの場所

大会競技規則 3. シードに従ってシードは以下のとおりの場所へあるいはくじ引きでその場所へ置かれる。

1. 第1シードは1のラインへ、第2シードは最下段のラインへ置かれる。
2. 残りのシードの場所は3&4シードを、5~8シードをそれぞれまとめて抽選し、以下のとおり上から下へ置いていく。

	16ドロウ(4シード)	24/32ドロウ(8シード)
シード3,4	5 12	9 24
シード5~8		8 16 17 25

iii. バイ (BYE)

ドロウを埋めるのに十分な選手がいない大会では、ドロウにシードを置いた後、必要となる数のBYEをシードの高い順に与える。シード数以上にBYEがある場合はくじ引きでドロウの各セクションに平均的になるよう与える。

iv. クオリファイアー/ラッキールーザーの抽選

クオリファイアーとラッキールーザーが本戦へはいる場所はシード以外の本戦選手と一緒に抽選する。予選終了前に本戦に空きができた場合は「未定クオリファイアー/ラッキールーザー(Q/LL)」としてその場所を本戦選手と一緒に抽選する。本戦ドロウ作成後で予選終了後にたくさんのBYEができた場合は、その場所を権利あるラッキールーザーで抽選し埋める。

v. 残りのダブルスチーム

シードとBYEを置いたあと、残りの本戦ダブルスチームとクオリファイアー及びラッキールーザーを抽選で引いた順にドロウの上から入れる。手順としては、「未定クオリファイアー/ラッキールーザー(Q/LL)」としてその場所を本戦選手と一緒に抽選する。予選終了後に、位置決めの抽選をする。引いた順にドロウの上から入れていく時点で、クオリファイアーか、ラッキールーザーかのステータスを入れる。

vi. 空きと交替

予選の試合開始後に出来た本戦の空きはラッキールーザーによって埋められる。ラッキールーザーの優先順位は以下のとおり選ばれる。予選のラウンドごとに敗者チームのグループができるとすると、最終ラウンド敗者チームのグループに最優先順位がある。そのグループをさらにランキングの有るチーム、無いチームに分け、其々のチームで無作為に抽選をして順位を決める。

#### 4. ラウンドロビン

本戦のエントリーが8以下の場合にはラウンドロビンで試合を行う。

##### a) ラウンドロビン 3～5チーム

最終アクセプトンリストのチーム数が3～5の場合はラウンドロビンを一回行う。

##### b) ラウンドロビン 6～8チーム

最終アクセプトンリストのチーム数が6～8の場合、2つのグループに分けてラウンドロビンを行う。

ラウンドロビン終了後、1位のチーム同士で決勝戦を行う。

##### c) シードの数と位置

ドロースイズ	3～5	6	7～8
シード数	0	2	2
チームをAとBに グループ分けする場合	全チームAグループ	3チームずつに分ける	3～4チームをAに、 4チームをBに入れる
No.1シードの位置	—	Aグループの1行目	Aグループの1行目
No.2シードの位置	—	Bグループの1行目	Bグループの1行目

##### d) ドローの作成

2つのシードチームは別々のグループに入る。その他のチームは抽選でAかBのグループに入る。7チームの場合、1シードがいるグループには3チームしかはいらない。

- ドロウ作成後で試合の開始前にウイズドロウがあり、グループ内のチーム数が2以下になった場合、チーム数の多いグループから抽選で選ばれたチームがこのグループに移動する。但し、シードのチームは動かない。ウイズドロウが重なって全体のチーム数が6に満たなくなった場合は、全チームがAグループに入る。
- 試合開始後のウイズドロウは 不戦勝（WO）として扱う。

##### e) ラウンドロビンの順位決めの計算方法

1勝につき1ポイント与えられる

グループ内の順位は以下の方法で決まる：

1. ポイントの多い順
2. ポイントが同率の場合：2チームが同率となった場合は直接対決の対戦結果
3. 3チーム以上が同率の場合：全チームとの対戦で勝利したセットのパーセンテージ  
それでも2チームが同率だった場合：その2チームの直接対決の結果
4. 全チームとの対戦で勝利したゲームのパーセンテージ  
もしそれでも2チームが同率の場合はその2チームの直接対決の結果  
それでも同率チームがあった場合は抽選で決める

##### f) 賞金の配分

賞金は賞金配分ルールに従って支払われる。ラウンドロビンのグループが一つの場合は、その中の順位によって支払われる。2つのグループでラウンドロビンが行われた場合は、2位のチームには準決勝敗者の賞金が支払われ、3位以下には準々決勝敗者の賞金が支払われる。

##### g) ランキングポイントの配分

ランキングポイントの配分はチームの順位とランキングポイントテーブルに則って算入される。ラウンドロビンが1つのグループで行われた場合、その順位によりポイントが与えられる。2つのグループでラウンドロビンが行われた場合、2位のチームは準決勝敗退者のポイント、3位以下のチームには準々決勝敗退者のポイントが与えられる。ただし、2勝以上したチームには該当ポイントが与えられるが、1勝しかしていないチームには該当ポイントの50%が与えられ、0勝はノーポイントとなる。

#### h) 予選ドローの構成

ラウンドロビンの予選ドローはラウンドロビンの本戦ドローの構成と同様である。何チームが予選通過者（クオリファイアー）として本戦に入るかはトーナメント方式で行われる本戦のドロー数によって定められる。

#### i) クオリファイアーの本戦受け入れ順

クオリファイアー（予選通過者）として本戦に入るチームはラウンドロビンの結果で決まる。2つのグループでラウンドロビンが行われた場合、1位のチームは予選通過者の1, 2番目のチームとなり、2位の2チームは3, 4番目のチームとなる。予選通過者の枠が埋まるまでこの手順が続く。

### 5. ラッキールーザーサインインとオルタネイトサインインの手順

オルタネイトとラッキールーザーはスケジュールされた試合開始時間の 30 分前までにレフェリーのところでサインインをしなければならない。本戦初戦が数日間に渡る場合はオルタネイトおよびラッキールーザーの決定された優先順位はそのまま維持される。ラッキールーザーの権利のある選手がプレーの用意をできていない場合は、その日の同ラウンドのラッキールーザーの最後の順番になる。

### 6. ウイズドローとシードの入れ替え

シードは最終的にドローができるまで公式ではない。シードチームのウイズドローによって出来た空きはドローの中で次にランキングが高いチームによって埋められる。移動により空いたポジションには、予選開始前であれば、アクセプタンスリストで次のチームが空いた位置に入れられる。予選開始後はラッキールーザーによって埋められる。オーダーオブプレー発表後はいかなる空きもラッキールーザーによって埋められる。

### 7. 中断と延期

レフェリーは日没やコートの状態や天候によって一時的に試合を中断しても良い。レフェリーによって試合が延期されるまでは選手と主審とコートオフィシャルは試合再開の準備をしていなければならない。

試合の中断によって主審または主審のいない試合の選手は中断時間とスコアとどちらのチームのサーブかどちらサイドのコートにいたかを記録し、また試合に使っていたボールを集めなければならない。試合が中断あるいは延期になった場合、ウォームアップの時間は以下の通りとする。

- a) 0 – 15 分の遅れ      ウォームアップなし
- b) 15 – 30 分の遅れ      3 分間のウォームアップ
- c) 30 分以上の遅れ      5 分間のウォームアップ

### 8. ホスピタリティ

公式にホスピタリティを出す大会は、エントリーしたすべての選手へ平等に、男女の差別なく宿泊援助を用意しなければならない。 ITF ビーチテニスツアーの \$35,000+H と \$15,000+H 大会では、上位 4 チーム全員にオフィシャルホテルでの宿泊を負担しなければならない。 その他の大会では、大会が予め決めた数に応じて、アクセプタンスリストの上位チームにホスピタリティをだすことができる。 ホスピタリティは、該当チームがどこまで勝ち進んだら、とか、特定の選手がエントリーしたら、という条件つきでは出せない。 ホスピタリティとは、オフィシャルホテルでの宿泊が 1 チームにつき一部屋が（一定期間）無料になる、という意味である。 ホスピタリティの部屋は本戦開始の前日か遅くとも本戦開始当日から用意されなければならない。 ホスピタリティは試合敗退した日の宿泊まで提供される。

### 9. コート

すべての試合コートのサーフェイスは同一でなければならない。 悪天候の場合は屋根付きコートへ移動しても構わないが、サーフェイスは同じでなければならない。

予選と本戦の全試合が消化できるだけの十分な面数のコートが用意されなければならない。加えて、32 チームにつき最低 1 面の練習用コートが用意されなければならない。

#### 10. トーナメントディレクター

JTA または実行委員会がトーナメントディレクターを任命する。トーナメントディレクターは競技に参加してはいけない。

トーナメントディレクターが大会にエントリーしていたことが試合前に発覚した場合は、直ちにそのチームはドローから外され、ITF ビーチテニスコードオブコンダクトにより罰則が科せられる。トーナメントディレクターが大会で試合をしたことが発覚した場合は、ポイントと賞金が没収され、コードオブコンダクトにより罰則が科せられる。

#### 11. レフェリー

大会は経費を負担して JTA 審判資格を保有する大会レフェリーを用意しなければならない。レフェリーは JTA ビーチテニスルール、JTA ビーチテニスルールとレギュレーション、JTA ビーチテニスコードオブコンダクト、およびコート上の事柄について最終判断をする。レフェリーはドロー作成の責任者である。レフェリーは大会ディレクターを兼任できない。また大会に出場することは許されない。レフェリーが大会にエントリーしていたことが試合前に発覚した場合は、直ちにそのチームはドローから外され、ITF ビーチテニスコードオブコンダクトにより罰則が科せられる。レフェリーが大会で試合をしたことが発覚した場合は、ポイントと賞金が没収され、コードオブコンダクトにより罰則が科せられる。

ITF ビーチテニスツアーの \$6,500 大会, \$10,000 大会では ITF ホワイトバッジ以上のレフェリー資格が必要とされる。

#### 12. 大会ドクター・PHCP・トレーナー

各大会では試合が行われている間、電話による大会ドクターの呼び出しと PHCP・トレーナーが会場に常駐することが望ましい。ITF ビーチテニスツアー大会ではトレーナーが会場に常駐しなければならない。

#### 13. 試合方法

JTA 国内大会は 8 ゲームプロセットまたは、ベストオブ 3 タイブレイクセットで行う。

ITF ビーチテニスツアー大会本戦はベストオブ 3 タイブレイクセットで行い、予選は、スコアが 1 セットオールになったら 10 ポイントのマッチタイブレイクで勝敗を決める。

#### 14. ビーチテニスルール

JTA ビーチテニスルールはすべての JTA 公認ビーチテニス大会の試合に適用される。

#### 15. プレーのコンディション

##### a) 大会と大会の間

レフェリーは選手から前の大会で最後にプレーした試合の日時情報を書面で通知されたら、その選手の最初の試合までにできるだけ 1 日の休みを与える。

##### b) 試合と試合の間

天候やその他の避けられない状況によって日程が遅れている場合を除いて、ダブルスチームは 1 日に最大 4 試合までスケジュールされる。試合は前日の試合終了から 12 時間以上あとにスケジュールされる。

ITF ビーチテニスツアーの大会では、最終日には最大 2 試合（準決勝と決勝）まで組むことができるが、準決勝は当該選手の準々決勝終了後 12 時間以上あけてスケジュールしなくてはならない。最終日の前日までは各日最大 4 試合までスケジュールできる。また、\$2,500 以下の大会では、各日 4 試合までスケジュールすることができる。

同じ日に1試合以上スケジュールされる場合は、最短でも以下の通り休憩を与えられる。

- i. 1時間以内の試合 30分の休憩
- ii. 1時間から1時間半の試合 1時間の休憩
- iii. 1時間半以上の試合 1時間30分の休憩

#### 16. エントリーフィー

大会ごとにチームから適切なエントリーフィーを徴収しても良い。エントリーフィーは予選本戦両方を含む。ITF 国際大会はITF エントリーフィーの規定に準ずる。選手はチームのエントリーフィーの半額を支払う責任がある。

#### 17. 賞金

大会委員会が賞金をつける場合は現金払いとし、大会要項に記載しなければならない。ITF 国際大会の場合は、賞金の支払いがUSドルか日本円かを開催要項に明記しなくてはならない。

#### 18. 施設

JTA ビーチテニス大会運営ガイドラインの詳細をみる。

#### 19. ボール

本戦予選ともにITF 公認の“オレンジボール”ステージ2を最少でも1試合にニューボール2球を使用する。ボールチェンジについての詳細はJTA ビーチテニス大会運営ガイドラインに記載されている。練習用ボールを用意するがニューボールでなくても構わない。

#### 20. 関連する競技規則

この中で扱われなかった範囲については、ITF・JTA ルールオブビーチテニスをすべてのJTA ビーチテニス大会に適用される。

#### 付則 A ITF 大会賞金配分表

チームに支払われる賞金額 (USD)

	\$50,000	\$35,000	\$25,000	\$15,000	\$10,000	\$6,500	\$2,500
優勝	10,000	7,000	5,000	3,000	2,000	1,430	550
準優勝	6,000	4,200	3,000	1,800	1,200	910	350
ベスト4	2,500	1,750	1,250	750	500	455	175
ベスト8	1,000	700	500	300	200	-	-

#### 付則 B ランキングポイント

JTA 公認国内大会は別表 1 JTA グレードに準ずる。

ITF ビーチテニスツアー大会は【別表 2】ITF 賞金別カテゴリーを適用する。

【別表 1】JTA 公認大会（賞金付）とJTA 公認大会（賞金なし）の ドローサイズ別ポイント表

#### 賞金付大会（16 ドローのみ）のポイント表

	W	F	R4	R8	R16
16 ドロー	2 7	1 5	8	4	2
コンソレ	2	二	二	二	二

## 賞金無し大会のポイント表

	W	F	R4	R8	R16	R32
32 ドロー	18	10	6	3	1	—
16 ドロー	10	6	3	1	—	—
コンソレ	2	—	—	—	—	—

## 別表 2 ITF カテゴリー及びポイント表

	W	F	SF	QF	R16	R32
世界選手権	275	170	110	60	30	15
\$50,000/\$35,000+H	250	150	90	45	20	10
\$25,000/\$15,000+H	125	75	45	25	10	5
\$10,000	80	45	29	15	6	4
\$6,500	35	20	10	5	3	
\$2,500	27	15	8	4	2	
なし	18	10	6	3	1	

## 付則 C 海外取得ポイント

P.5 ランキングとポイントの配分を参照。

## 付則 D メディカル、極端な天候状態、トイレ・着替え

### A. メディカルコンディション \* JTA テニスルールブックと同じ

メディカルコンディションとは、試合中（ウォームアップを含む）に発生したケガ、または病気がトレーナーまたはドクターの手当や判断を必要とする症状を指す。

#### 手当の受けられる症状

- 緊急の症状：ウォームアップまたは試合中に突然発生したケガや病気が緊急に対応しなければならない症状
- 緊急ではない症状：ウォームアップまたは試合中にケガや病気が発生あるいは悪化したか、次のエンド交代時あるいはセットブレイクまでトレーナーまたはドクターの到着を待てる症状

#### 手当の受けられない症状

- 適切な手当ができない症状および時間内に手当をしても改善しないと診断された症状
- ウォームアップを含む試合中に悪化していない改善しない既往症の症状
- 疲労及び体力の消耗
- 注射、酸素吸入、点滴を必要とする症状。ただし事前に申し出ることを条件に糖尿病に必要なインスリン注射をすることは許される。

### B. 診察

選手はウォームアップを含む試合中にチェアアンパイア、ロービングアンパイアまたはレフェリーを通じてトレーナーまたはドクターを要請し、次のエンド交代時かセットブレイク時に診察をしてもらうことができる。緊急の場合に限ってプレーを中断し、トレーナーまたはドクターが到着次第直ちに診察を受けることができる。



診察では実際にケガや病気が発生したかどうかを調べ、またそれらの手当が可能かどうかを判断する。診察時間は選手の安全と連続的プレーのバランスを考慮して理にかなった範囲内で行う。ドクターが診察に立ち会うかまたコート外で診察を行うかはトレーナーの判断による。手当できない症状と判断された場合は、選手に手当を受けられないと伝える。

### C. メディカルタイムアウト (MTO)

トレーナーまたはドクターの判断に基づいてレフェリーまたはチェアアンパイアが MTO の許可をする。MTO はエンドチェンジまたはセットブレイク時に行われるが、緊急を要する場合は直ちに行われる。

MTO はトレーナーまたはドクターが手当をする用意ができた時に開始する。トレーナーの判断によって MTO の手当をコート外で行うことができるし、ドクターと共同で行うこともできる。MTO は 3 分を超えてはならない。

選手は一部分の症状につき 1 回の MTO を取ることができる。熱中症に関連する症状は 1 試合につき 1 回だけ MTO を受けることができる。1 つのケガが影響して発症した複数のケガの場合は原因がひとつだと判断されればいくつかの症状全体を一つのケガとみなされる。

筋ケイレンの場合、選手はエンド交代時またはセットブレイク時にその時間内に限り処置を受けることができる。筋ケイレンで MTO を受けることは許されない。

症状が緊急処置を必要としているか否か、あるいは手当が受けられる症状か否かについて疑問がある場合は、トレーナーまたはドクターの判断を最終とする。トレーナーまたはドクターが熱中症の 1 つの症状として筋ケイレンが同時に発症したと判断した場合は、熱中症の適切な処置の一部として筋ケイレンの処置を行うことができる。

### 【注】

選手が緊急を要するケガを理由に試合を中断したが、トレーナーまたはドクターが筋ケイレンと判断した場合はチェアアンパイア、ロービングアンパイアまたはレフェリーによって直ちに試合を再開するよう指示される。

選手が深刻な筋ケイレンによってプレーが全くできないとトレーナーまたはドクターが判断した場合、次のエンド交代時またはセットブレイクまでのポイント及びゲームを失い、直ちに定められた時間内で筋ケイレンの処置を受けることになる。筋ケイレンの場合はエンド交代時またはセットブレイク時に 1 試合につき 2 回までメディカルトリートメントを受けることができる。その 2 回は連続するエンド交代時でなくても構わない。

この規則の適用に関して選手が駆け引きに使ったと判断した場合は、チェアアンパイア、ロービングアンパイア、レフェリーはスポーツマンシップに反する行為としてコードバイオレーションを科すことができる。

同時に 2 箇所以上にケガをおった場合、あるいは体調が悪くなって同時にケガもした場合は、レフェリーの許可があれば 2 回続けて MTO を取ることができる。ただしトレーナーは 2 回連続の MTO を取るかどうかを 1 度の診察で判断しなければならない。

### D. メディカルトリートメント

選手はエンド交代時間内、セットブレイク時間内に手当を受けたりドクターから医薬品を受け取ったりすることができる。その手当は 2 回まで MTO の前でも後でも取ることができる。ただし手当のできない症状の場合はメディカルトリートメントを受けることはできない。

### E. 罰則

MTO 終了後 30 秒以内あるいはメディカルトリートメント終了後直ちにプレーを再開しなければコードバイオレーション“ゲームの遅延”が科される。

メディカルルールを悪用したと判断された場合はコードバイオレーション“スポーツマンシップに反する行為”が科される。

## F. 出血

選手が出血した場合、チェアアンパイアはプレーを中断し診断と手当を受けるためトレーナーまたはドクターを要請する。トレーナーまたはドクターは出血の原因を突き止め、必要があればMTOを取る。トレーナーまたはドクターから要求があれば、レフェリーは止血するために合計5分まで許可しても良い。コートに血がついた場合はコートを清掃し終わるまでプレーを再開しない。

## G. 嘔吐

選手がコートで嘔吐した場合、または嘔吐した選手が診察を要請した場合、チェアアンパイアは試合を中断しなければならない。トレーナーまたはドクターは手当が可能な症状かどうか、また緊急な手当を要するかどうかを判断しなければならない。コート上に嘔吐物がある場合はコートを清掃し終わるまでプレーを再開しない。

## H. 身体的プレーの限界

試合中に突然選手が自力でトレーナーまたはドクターを要請できないほど具合が悪くなったり負傷したりした場合はチェアアンパイア、ロービングアンパイア、レフェリーは直ちにトレーナーまたはドクターを呼ばなければならない。

試合前または試合中に選手が身体的にプレーを続行できない状態だとトレーナーあるいはドクターが判断した場合はレフェリーにその旨を報告しなければならない。それが試合前であればその選手をウイズドロースさせる方が良く、試合中であればリタイアをさせたほうが良いとレフェリーにアドバイスをする。

このような選手をウイズドロースあるいはリタイアさせる判断は医学的アドバイス他、あらゆる状況を考慮してレフェリーが最終判断をする。症状が十分回復し適切なレベルのプレーができるとトレーナーまたはドクターが判断すれば、その選手は同日の他の種目に出場できる。

### 【極端な気象状況（ヒートルール）】

会場での気温が摂氏35度以上になった場合、最終セットの前に10分間のコート外での休憩が認められる。この10分間の休憩ではトイレ、着替えはできるがコーチングを受けることはできない。MTOはレフェリーが許可した場合に限る。気温を測る場所（木陰の風通しの良い1mぐらいの高さ）はレフェリーが決定し、測る時間は試合開始30分前、開始以降は3時間ごとにドクターまたはトレーナーがレフェリーとともに確認する。ドクターまたはトレーナーが不在の時はレフェリーが行う。会場で正確な気温が測れない場合は最寄りの気象庁または観測所に問い合わせる。

試合進行中にヒートルール採用が決定された場合でも最終セットの前に休憩を取ることができる。試合進行中に気温が下がったとしても一度ヒートルールが決定された試合は、試合途中で中断がない限り解除されない。

ITFビーチテニスツアー大会では、すでに開始された試合では途中からヒートルールは採用されない。

### 【トイレブレイクと着替えブレイク】

選手はセットブレイク時にトイレブレイクと着替えのために必要時間コートを離れることができる。それぞれのチームは最大2回のブレイクを取れる。チーム2人が同時に行った場合は1回のブレイクと数える。このブレイクはトイレと着替え以外の理由で取ることはできない。ウォームアップ開始後のトイレブレイクは1回と数えられる。認められた回数分のトイレブレイクを全て使ってしまったあと、必要があればトイレに行くことはできるが、エンド交代時間内、及びセットブレイク時間内に戻りプレーを再開しなければならない。再開できない場合はコードバイオレーション“ゲームの遅延”を科される。

レフェリーは選手が駆け引きや目に余るルールの悪用と判断すれば選手に対してトイレブレイクや着替えを拒否することができる。レフェリーの許可がなければトイレブレイクや着替えとMTOを連続して取ることはできない。選手はトイレブレイクの間に着替えをしても良い。違反をした選手はコードバイオレーション“スポーツマンシップに反する行為”を科される。

## 付則 E Welfare Policy (快適な環境づくりのための指針)

### A. 適応

カバードパーソンに適応される。カバードパーソンとはコーチ、トレーナー、マネージャー、エージェント、メディカルスタッフ、家族、大会ゲスト、その他選手の友人(選手サポートチームメンバー)、大会ドクター、大会役員スタッフ、ボランティア、スポンサー、HCP、ITF スタッフ、メディア(許可された人)を指す。

- 規則に反した行為、倫理に反する行為をしない。
- 人種、民族、性別、生まれた国、年齢による差別をしない。
- 故意に障害を与え、不当に妨害するようなプロフェッショナルらしからぬ犯罪的または非倫理的行為をしてはならない。
- 職務管理範囲を犯し、精神的、身体的、感情的な健全さを損なうような言動をしてはいけない。
- 選手との関係につけ込んで政治的な利益、ビジネス上の利益などを得ようとしてはいけない。
- 性的嫌がらせをしてはいけない。
- 犯罪行為を犯してはならない。
- アンチ・ドーピングプログラムを促進させ、支持する。
- JTA、各種大会、JTAの主催公認大会に不利な影響が及ぶような行動をしてはならない。

## 付則 F ITF テニス反腐敗プログラム

### A はじめに

#### ITF テニス反腐敗プログラムの目的とは

1. テニスの公正さを保つ
2. 試合結果を悪用しようとする動きを阻止する
3. 共通ルールとそれを首尾一徹して実行する方法を構築し、テニス大会及びその管轄団体を脅かす個人や組織などを、法的手段を使って守ることである。

### B 定義

#### 1～5 (省略)

6. “カバードパーソン”とは、プレーヤー、プレーヤーの関係者、大会関係者のことをいう。

#### 7～18 (省略)

19. “プログラム”とは、テニス反腐敗プログラムのことをいう。

#### 20～24 (省略)

25. “T I U”とは、テニス・インテグリティ・ユニット(Tennis Integrity Unit) のことをいう。

#### 26～28 (省略)

### C カバードプレーヤーズ、カバードパーソンズ、カバード大会

1. 全てのプレーヤー、プレーヤーの関係者、大会関係者はこのプログラムの各条項の制約を受け、それらを順守しなくてはならない。加えてT I Uプライバシーポリシーにも同意するものとする。
2. プログラムの内容に精通しておくのはカバードパーソンの責任である。そしてプレーヤーひとりひとりが家族、友人、陣営スタッフにプログラムについて周知させ、条項の順守を促すものとする。

### D. 違反行為

#### 1. 腐敗行為

- a) カバードパーソンは、いかなる経緯でもテニストーナメントの試合結果を題材にして賭けをしたり賭けようとしたりしてはいけない。

- b) カバードパーソンは、いかなる経緯でもテニストーナメントの試合結果を題材にして第三者に賭けを勧誘したり斡旋したりしては  
いけない。
- c) カバードパーソンは、いかなる経緯でも腐敗行為をする組織に賄賂を持ちかけたり、金銭や手当を受け取ったりしては  
いけない。
- d) カバードパーソンは、直接または間接的にトーナメントの試合結果の操作をしたり、操作しようとしてはいけない。
- e) カバードパーソンは、選手が最善を尽くしてプレーしないよう金銭的に援助したり手助けをしたりしてはいけない。
- f) カバードパーソンは直接あるいは間接的に大会に関する情報と交換に金銭の授受をしてはいけない。
- g) カバードパーソンは他のカバードパーソンから内部事情を得るため、直接あるいは間接的に金銭の授受や利益あるいは報酬を  
要求してはいけない。

付則 G 連絡先

JTAビーチテニス委員会

JTA事務局 Email: [beach@jta-tennis.or.jp](mailto:beach@jta-tennis.or.jp)